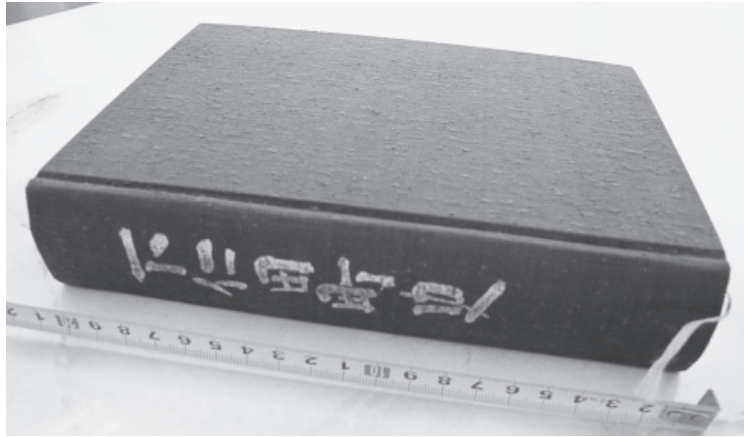




Q 町史の編さんの必要性は

A 必要性はあると認識

議員 最新の発行時期は。
教育課長 存在の町史は昭和46年11月3日に発行。既に41年が経過している。
議員 平成20年度に予算計上した。その後の経過について伺いたい。
教育課長 平成20年度予算に181万円を計上、21年度にも383万円を計上したが補正でゼロとし、その後は予算化していない。
議員 当時の中止の理由は。
教育長 専門的な知識経験を要する刊行委員、編さん委員の選任に問題があった。



昭和46年発行の下仁田町史

議員 20年度は岡田町政21年度は金井町政、町史の編さんの必要性があると考えているのか。
教育長 後世に伝える必要性はあると認識しています。

議員 2年にわたって予算化したものができなかった。教育長の職務ではないか。
教育長 世界遺産の関係が目の前に迫りそちらに集中せざるを得なかった。
議員 2年にわたり予算化したができなかったことは職務怠慢と言わざるを得ない。教育長には2度目です。

Q 荒船の湯の民間委託の検討は

A 結論に至っていない

議員 荒船の湯の経営状況は。
産業振興課長 平成9年に開業して利用実績は、左記のとおりです。

荒船の湯利用実績

平成年度	入館者数	収入	支出	差(赤字)
10	95,000人	11,557万円	11,327万円	+ 227万円
15	80,000人	7,773万円	8,700万円	- 926万円
20	67,000人	6,153万円	7,538万円	- 1,384万円
23	54,000人	4,755万円	6,821万円	- 2,000万円

議員 大変な状況だ。金井町政の4年の間に荒船の湯の民営化への検討をしたか。
産業振興課長 第4次下仁田町行財政改革大綱の中に盛り込みましたが、具体的な結論に至っておりません。

議員 なぜ結論が出せない。
町長 一口に言いますがマイナス要因がこれだけありますと、お引き受けくださる方が難しい状況です。

議員 職員の教育はどのようなシステムで行うのか。
産業振興課長 職員間のトラブルや苦情等を耳します。その都度、出向いたときに口頭で注意、文書でもって苦情等を当事者にわかるように簡条書きにして配付し改善を促します。

議員 接客態度、マナーの指導等は誰が行うのか、研修や視察等は行っておるか。
産業振興課長 職場改善に全員で取り組んでいる、専門家等による研修会は、自主的な改善に期待したい。

議員 8月21日の新聞に「大変に遺憾、厳正に対処したいと話している」と町長コメントが掲載された。
町長 突然の新聞報道でございまして、どういった内容であるかわからないで話を聞きました。非

常に残念に思った次第です。
議員 過去において、職員の事件、事故等については管理者はみずから責めを負う事例は幾つもあった。管理者責任は感じるか否か。
町長 まことに残念であり厳粛に受けとめております。責任を感じております。

議員 言葉のみならず形にしていた、いただきたい。
町長 答弁は重複のため省略
議員 管理者が自らの給与を数カ月カットした事例がある。
 今回はどうされますかの質問です。検討願いたい。

町長 (答弁なし)



荒船の湯受付